

# SU D E R U

KEISHO OKAMOTO



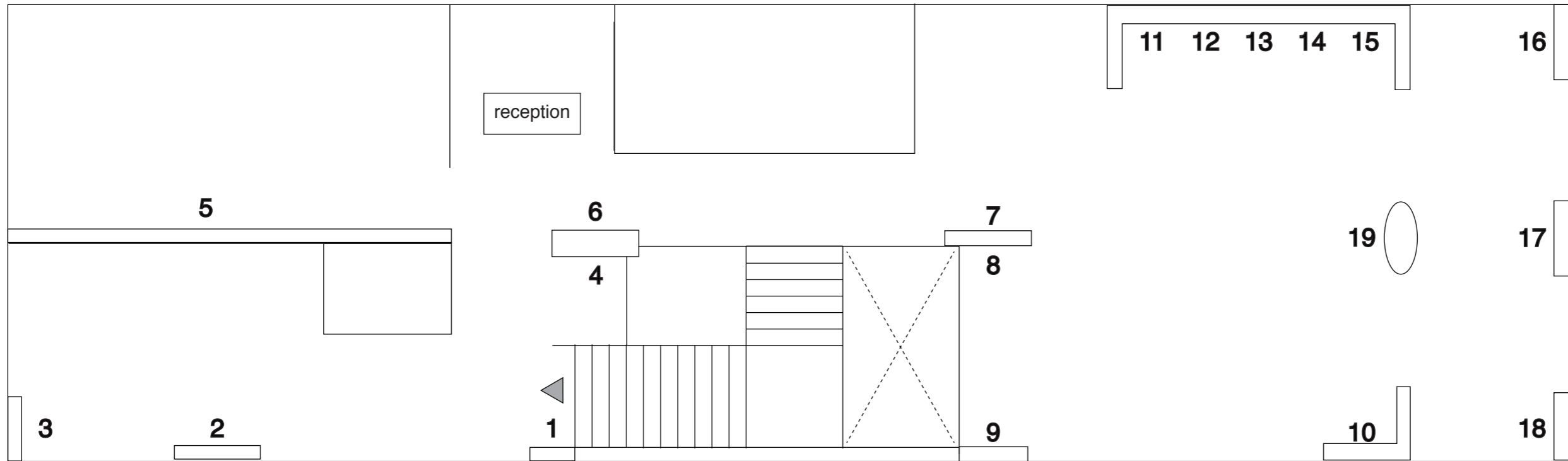
宮古島市平良にある PALI GALLERY (パリギャラリー) は、2022 年 5 月に行われた岡本恵昭「SUDERU」展より、展示作品数を一部編集した巡回展を Restaurant the rescape にて開催いたします。

宮古島、祥雲寺の住職でありながら民俗学者でもある岡本恵昭 (85) は、1960 年代から 70 年代にかけ、宮古島の村落祭祀を精力的に撮影してきました。ウヤガン、ユークイ、ナーバイ、ナーパイなど、古くから女性を中心に執り行われてきた村々の祭祀は、一般には公開されることのない秘祭とされてきました。それゆえ男性である岡本は警戒され、石を投げられ追い返されることもしばしばだったと振り返ります。

それでも研究の一環として足繁く通い、けっして禁じられた一線を超えることなく、少しずつ女性たちの理解を得ながら撮りためた岡本の写真は、今見ると単なる資料を超えリアリティある芸術表現として受け取ることができます。人の目に触れること拒んだ女性たちの威厳ある姿と、作品として発表する意図のなかった控えめな写真から、私たちはかつてあった宮古島のあるがままな世界を見ることができるでしょう。

本展のタイトルである「SUDERU(スデル)」とは、宮古の言葉で「再生」や「循環」、「生命が甦る」ことを表します。先祖から受け継いだうたを一字一句変えることなく、新しい時代に詠み継いでいく宮古の祖先崇拝を表現する際に、岡本はよくこの言葉を口にします。

50 年前の祈りの風景は、すでに存在していないものばかりです。目紛しく変化し、新たな希望と二度と取り戻せない失望が常に隣り合わせの今の宮古島で、岡本の写真は「変化」という島の宿命に向かい合うことの意義を考えさせます。同時に、沖縄の本土復帰 50 年と言う節目の年において、連綿と続く宮古島の精神性を蘇らせる貴重な機会です。



- |                         |                           |                          |                                 |
|-------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------------|
| 1 見守る先輩ツカサ<br>狩俣の座      | 6 スサ(神歌)をうたう<br>狩俣のウヤガン   | 11 マツリの準備<br>池間のユークイ     | 16 添道の茅葺家<br>_____              |
| 2 集落の家々を祝う<br>西原のナーバイ   | 7 スサ(神歌)をうたう<br>狩俣のウヤガン   | 12 豊年祈願<br>池間のユークイ       | 17 カミの杖<br>狩俣のウヤガン              |
| 3 御嶽から御嶽へ<br>島尻のウヤガン    | 8 集落の家々を祝う<br>西原のナーバイ     | 13 カミへ供えたおむすび<br>池間のユークイ | 18 ユクイ(休憩)<br>狩俣のウヤガン           |
| 4 スデル(再生)<br>島尻のウヤガン    | 9 集落の家々を祝う<br>西原のナーバイ     | 14 豊年祈願<br>池間のユークイ       | 19 津波よけの祭りの縄を編む<br>うるか(砂川)のナーバイ |
| 5 スサ(神歌)をうたう<br>島尻のウヤガン | 10 スサ(神歌)を唱和する<br>狩俣のウヤガン | 15 豊年祈願<br>池間のユークイ       |                                 |

### 岡本 恵昭 Keisho Okamoto

1938年 沖縄県宮古島に生まれる  
 1961年 花園大学禅哲学科卒業  
 1965年 臨済宗妙心寺派龍寶山祥雲寺住職  
 元平良市編纂委員  
 平良市文化財保護委員  
 平良市博物館協議委員  
 2011年 著書「宮古島の信仰と祭祀」発刊(第一書房)  
 2019年 KEISHO MYAHK 196X-2021 Photo Exhibition at Gallery UESUYA  
 現在 臨済宗妙心寺派龍寶山祥雲寺住職

### PALI GALLERY (パリギャラリー)

宮古島にゆかりのある写真家・石川直樹と宮古島出身アーティスト・新城大地郎が共同ディレクターを務めるアートギャラリー。様々なジャンルのアーティストを招へいたレジデンスプログラムを軸に展示会を行う。宮古島の方言で畑を意味する「PALI(パリ)」。芸術表現から宮古の文化を耕していくことを目的としている。